

広島大学インキュベーション研究拠点
「本能行動の発現メカニズムに関する総合科学研究推進拠点
—大学生の生活習慣及び科学リテラシーの確立へ向けて—」
第9回 研究セミナー

本研究拠点の目的は、本能行動をはじめとする様々な生命現象を生命科学・健康スポーツ科学・行動科学等の学際・異分野融合的な立場から解明することです。

この度、学外から講師の先生をお呼びし、講演を行っていただきます。
教員、院生、学部生を問わず多数のご参加をお待ちしております。

【日時】2015年12月9日（水）16：20～17：50

【場所】総合科学研究科 講義室 J306

【演者・講演内容】大森義裕（大阪大学蛋白質研究所）

細胞のセンサーオルガネラ「繊毛」の異常と繊毛病の発症メカニズムを探る

繊毛は細胞の表面から生えた毛のような構造で、細胞のセンサーとしての機能を持っています。繊毛の異常は視覚障害、嚢胞腎、不妊、肥満、糖尿病など「繊毛病」と呼ばれる一群の病態を引き起こします。本セミナーでは、マウスとゼブラフィッシュを用いた繊毛病の発症メカニズムの解明についてわかりやすく解説していただきます。

【問合せ】佐藤 明子（総合科学研究科
行動科学講座 内線6569）

*本研究セミナーは、総合科学推進プロジェクトの支援を受けています。

また、理系大学院（総合科学・理学・先端物質科学・工学・生物圏科学研究科）の認定科目として開催します。